

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり
事業名	港湾振興対策事業(清掃業務委託事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
港湾地区内の緑地、緑道及び歩道の景観について、常に良好な環境を維持する。

【事業概要等】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,874	1,920	1,982	2,043	
うち市負担分(千円)	1,874	1,920	1,982	2,043	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
清掃実施回数	回	77	77	77	77
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各港湾地区の不法投棄ごみの量に応じた清掃回数を実施したことにより、緑道・歩道の良好な環境を維持できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	現在、シルバー人材センターを活用し、港湾地区の緑道・歩道の美化に努めているが、当該地区においては、日常的に不法投棄やごみのポイ捨てなどが多くみられるため、利用者の美化意識の醸成に向けた意識啓発が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 港湾地区内の緑道・歩道は市民がジョギングや散歩をするコースであり、常に良好な景観を維持する必要がある。 また、港湾地区は不法投棄ごみが非常に多いため、今後も清掃業務が必要である。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域産業の振興
事業名	地域産業振興対策事業(泉大津未来ビジョン事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津の将来に向け、未来を担う子供たちの健全な育成と、豊かな市民生活の実現を目的として開催する「泉大津未来ビジョン」を充実させ、「織維のまち・泉大津」をPRする。

(事業概要等)

泉大津未来ビジョンにおいて実施する「毛布・ニット謝恩セール」などの各行事に対して補助支援を行う。
 商連わいわいフェスタ 毛布謝恩セール
 ニット謝恩セール おづみんフェスタ OZU - 1グルメグランプリ

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	
うち市負担分(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
未来ビジョンが実施した補助対象事業数	件	5	5	5	5
支援を行った事業への参加者数	人	18,556	19,063	18,754	19,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津未来ビジョンにおいて実施する「毛布・ニット謝恩セール」などの商工業関連行事に対して支援し、「織維のまち・泉大津」をPRできた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成23年度から補助額を4,000千円に引き下げた。
--------	----------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業は、泉大津市全域にわたり実施される事業であり、「織維のまち・泉大津」を市内外にPRでき、まちの活性化を図ることができた。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域産業の振興
事業名	地域産業振興対策事業(染色整理業活性化補助金)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市の地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、染色整理事業者で構成される大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が行う染色整理業の振興を図るための取組みを支援し、地域産業の振興に資する。

(事業概要等)

大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が染色整理業の振興を図るために行う取引条件の改善に寄与する事業及び各事業者が地域産業基盤安定化事業として実施する構造改善のための取組みに関する指導等の取組に対する補助を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	179	150	0	150	
うち市負担分(千円)	179	150	0	150	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値

(指標を設定できない理由)

年度ごとに事業内容が変わるために、指標を設定することが困難。

(成果の概要)

令和元年度は、事業者の新商品・試作品等への開発支援事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、講師との予定が合わず、事業を中止した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が実施する事業に対し、引き続き支援を行う。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域産業の振興
事業名	地域産業振興対策事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市地域経済の重要な位置を占める繊維関連産業における販路開拓、新商品・新技術の開発のための取組みを支援し、もって地域産業・経済の発展に資する。

(事業概要等)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域産品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や調査研究事業、異業種交流など地域産業振興に係る「新商品・新技術事業」に対して補助を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,893	6,282	6,982	7,930	
うち市負担分(千円)	5,893	6,282	6,982	7,930	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
地域産業諸団体が実施、参画した販路開拓のための事業数	件	4	5	5	5
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域産品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や調査研究事業、異業種交流などの「新商品・新技術事業」に対し支援し、地域産業・経済の発展に資することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 販路開拓事業では「繊維のまち・泉大津」のPRが、新商品開発事業では展示会において成果が出ており、今後も事業の拡大及び成果が期待できる。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域ブランドの活用と確立
事業名	織編エッセイ賞事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨) 国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「織維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図る。
(事業概要等) 衣服や織維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“織維製品”に触れる内容のエッセイを広く公募する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,088	1,998	1,760	2,227	
うち市負担分(千円)	1,888	1,798	1,560	2,027	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
「泉大津市オリアム隨筆賞」応募件数	件	513	435	339	400
「文学フォーラム及び表彰式」来場者数	人	145	112	-	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
関西を代表する著名人が選考委員を務めるオリアム隨筆賞(衣服や織維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“織維製品”に触れる内容のエッセイ)を実施し、国内生産の約90%を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「織維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。 令和元年度は、新型コロナウィルス感染症の影響により例年開催している「文学フォーラム」は中止とし、選考委員と受賞者による表彰式及び座談会を実施した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成26年度から泉大津市民を対象とした特別賞(泉大津市長賞)を新設した。
--------	--------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	「織維のまち・泉大津」を広くPRするため、より効果的な広報活動を実施し、応募者数及び文学フォーラムにおける来場者数を増加させる必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 織維製品に限った内容のエッセイを募集し、その結果、国内だけでなく海外からも応募があったことから「織維のまち・泉大津」を広くPRできた。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域ブランドの活用と確立
事業名	泉大津プロモーション事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市の知名度を上げ地域の活性化を図るため、行政と産業界が一体となって市のPRを行う。
(事業概要等)
市のPRのため、野外コンサート会場や全国各地のイベントなどのシティプロモーションの実施や、泉大津駅におけるイルミネーション事業、特産品PR等の事業を展開する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,500	3,500	3,500	6,500	R2年度は、ふるさと応援基金充当のため
うち市負担分(千円)	3,500	3,500	3,500	3,500	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値

(指標を設定できない理由)

市のPR活動を目的としているため。

(成果の概要)

市のPRのため、大都市圏などでのシティプロモーションをはじめ、夏フェス、ナンバーワンフェスタ、特産品キャラバン事業等を実施し、アートプランケットハーフサイズの作製など幅広く活動し、泉大津市の知名度を上げ地域の活性化を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	フェニックスコンサート時のプロモーション活動の一環としてポケットティッシュの配布を行っているが、配布物に市内店舗の紹介をしている情報サイトへの誘導をはかるQRコードを掲載するなど、市内誘導を促す取組みを実施している。また、ツイッターキャンペーンを平成28年度から実施しているが、フォロワーへの情報提供をはかるといった取組みを通して、さらなる市内店舗への誘導を図る。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	効率的に本市の知名度を上げ、地域の活性化を図るために、現事業のさらなる改善及びより効果的な事業を実施する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 多くのイベント等への出展・参加を通じ、「織維のまち・泉大津」のPR事業等を展開することができた。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		地域ブランドの活用と確立
事業名	日本一の毛布のまちPR事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市の特産品である毛布の製造、または販売する事業者の振興、ならびにその特産品のPRによる産業振興を図る。

(事業概要等)

特産品のPRによる産業振興を図るため、本市内の空き店舗等を利用し、特産品のPRかつ販売をする事業に対し支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		228	237	315	
うち市負担分(千円)		228	237	315	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
空き店舗等を利用し、販売活動を実施した回数	回	8	8	8	
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

本市の特産品である毛布のPRを行い、本市内も含む全国へ「日本一の毛布のまち泉大津」をアピールすることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の特産品である毛布のPRを行い、「日本一の毛布のまち泉大津」を広くアピールすることができた。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		新規産業の創出と育成
事業名	産業振興対策事業(創業支援事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

産業の活力を維持し、より一層発展していくため、泉大津商工会議所が行う市内での創業促進のための取組みなどを支援し、市内産業の振興に資する。

(事業概要等)

泉大津商工会議所が創業促進のために実施する創業セミナーや市内開業者への設備補助等の取組みに対する支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	599	356	591	720	
うち市負担分(千円)	599	356	591	720	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
創業セミナーの参加者数	人	20	18	11	15
設備補助事業者数	件	-	3	9	10

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

泉大津商工会議所が行う創業支援事業に対し、市内創業者の振興を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	H30年度から創業時の経費負担を軽減するため市内開業者への設備補助制度を創設した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	創業希望者に対する創業しやすい環境づくりなどの支援が必要である。
---------	----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内での創業・起業の促進を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		新規産業の創出と育成
事業名	産業振興対策事業(創業支援補助金事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨) 本市内で新たに創業する者に対し支援を行うことにより、本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出す。
(事業概要等) 本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出すため、本市内の空き家及び空き店舗等を活用し、新たに創業する者に対し家賃補助を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		60	235	1,200	
うち市負担分(千円)		60	235	1,200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
支援事業者	社	2	4	10	
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市内で新しく事業を始める事業者に対して、初期投資を軽減させるための家賃補助を行い、本市内の起業を促進させることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成31年度より、空き家の条件である建物の未使用期間を6ヶ月から3ヶ月に変更し、利用可能である範囲を拡大した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	制度自体のより一層の広報・周知が必要である。
---------	------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内での起業を促進するため継続して取り組む。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		新規産業の創出と育成
事業名	産業振興対策事業(中小企業事業資金融資関連事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、中小企業信用保険法に基づく大阪府制度融資に関する業務及び利子補給等の関連業務を行い、市内産業の振興に資する。
(事業概要等)
市内中小企業者に対し、中小企業信用保険法に基づく大阪府中小企業事業資金融資のあっせん及び特定中小企業者の認定等の業務を行うとともに、長引く経済不況による影響に対処するため、市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給する中小企業事業資金利子補給制度を実施する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	752	746	950	1,200	
うち市負担分(千円)	752	746	950	1,200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
利子補給件数	件	91	86	84	100
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給することにより、市内中小企業者の経営の安定と振興を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利子補給制度について、平成21年度から日本政策金融公庫が行う小規模事業者経営改善資金融資を、平成22年度から生活衛生改善貸付を対象融資に加えた。 平成24年7月から日本政策金融公庫が行う新規開業資金を対象融資に加えた。 平成26年10月から大阪府が行う開業サポート資金(地域支援ネットワーク型A 創業・B 創業等)を対象融資に加えた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内にある全ての事業者を把握することは困難で、制度自体のより一層の広報・周知が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業のうち、大阪府制度融資に関する業務及び利子補給については、原則的にこれまでの体制を継続する。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		商業・サービス業の振興
事業名	産業振興対策事業(産業活性化事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市の商業の発展及び振興を図るため、各種団体が自ら主体となって行う活性化事業に支援を行い、市内商業の活性化に資する。

(事業概要等)

商店街の空き店舗を活用した事業や、商店街の来街者増加に向けた各種イベント事業に対し、支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,745	2,492	2,390	2,483	
うち市負担分(千円)	2,745	2,492	2,390	2,483	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
補助団体数	団体	2	2	2	3
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

空き店舗を活用した事業や各種イベント事業の実施により、地域消費者の利便性向上や来街者増加に繋がり、市内商業の振興を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、商業の発展及び振興を図るため、商業関係団体が実施する商業活性化事業に対し支援を行う。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		商業・サービス業の振興
事業名	産業振興対策事業(キャッシュレス推進支援事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨) 本市の商業者・商工業者の活性化を図るため、キャッシュレス決済の環境整備を支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等) 市内のキャッシュレス決済対応端末の導入などのインフラ整備を進める事業者に対し、費用の一部を助成するなど、キャッシュレス推進支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			710	560	ふるさと応援基金充当のため
うち市負担分(千円)			0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
(指標を設定できない理由) 年度ごとに事業内容が変わるために、指標を設定することが困難。					
(成果の概要) 泉大津商工会議所が市内の商業者・商工業者のキャッシュレス推進を図るために実施した取組み(端末導入補助10社、泉大津未来ビジョン事業におけるキャッシュレス決済の導入など)を支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内事業者のキャッシュレス決済のシステム導入に向けては、利用者の増加が不可欠であるため、今後は市民向けの取組みが重要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内の商業・商工業の発展及び振興を図るため、泉大津商工会議所が実施するキャッシュレス推進支援事業に対し支援を行う。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業		商業・サービス業の振興
事業名	産業振興対策事業(販路開拓事業)		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内の商業者・商工業者の活性化を図るため、泉大津商工会議所が行う、新規顧客獲得のための販路開拓事業に関する取組みなどを支援し、市内商業・商工業の振興に資する。

(事業概要等)

市内の商業者・商工業者の新規顧客獲得のために泉大津商工会議所が実施する開催する集客イベントなど、販路開拓に関する取組みなどへの支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,362	4,453	2,840	2,409	
うち市負担分(千円)	3,362	4,453	2,840	2,409	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値

(指標を設定できない理由)

年度ごとに事業内容が変わるために、指標を設定することが困難。

(成果の概要)

泉大津商工会議所が市内の商業者・商工業者の販路開拓を図るために実施した取組みを支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内の商業・商工業の発展及び振興を図るために、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供
事業名	団体等育成支援事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津漁業協同組合と協力して、良好な漁業環境の整備を行い、安全操業の確保および漁業従事者の維持を図ることにより、市民が漁業への理解を深め、親しみやすい漁港環境を整える。

(事業概要等)

泉大津漁業協同組合が行う港内及び周辺地域の清掃・漁場の監視・漁業情報の収集等を行い水産振興対策運営事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	267	267	267	
うち市負担分(千円)	267	267	267	267	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
年間港内・漁場清掃回数	回	12	12	12	12
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	漁業経営の安定化に向けて、泉大津市と泉大津漁業組合で構成する水産業再生委員会で策定を行った「浜の活力再生プラン」の実施に関して、事業を展開していく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 漁業環境の整備によって、安全操業の確保や漁業従事者の維持を図るとともに、今後「浜の活力再生プラン」の実施により一層の漁業の活性化を進める必要がある。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供
事業名	農地対策事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域の農業振興のために欠かすことのできない農業用ため池の保全を行う。また、ため池の適正な維持管理のために管理者である水利組合に必要な支援を行う。

(事業概要等)

ため池での事故等を未然に防ぐために安全対策を講じるとともに、景観等の維持のために水利組合と共同で除草等を行い、適正なため池管理を行う。

また、今後南海地震や東南海地震の発生が懸念され、ため池や住民への影響を明確にするという観点から、耐震性及び被害想定区域の調査が不可欠であると考えられるため、事業管理計画に位置付け、農業水路等長寿命化・防災減災事業の推進を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,311	1,269	1,574	6,527	除草に関して水利組合負担分あり
うち市負担分(千円)	1,171	1,129	1,361	1,333	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
草刈日数	日	15	15	15	15
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)
ため池堤体の除草を行うことで、池の景観形成につながった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 農業用水源としてのため池の保全等、維持管理に努めるとともに、ため池景観の維持に努める。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進
事業名	経営所得安定対策等推進事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

営農者に対して、国が推進する経営所得安定対策等推進事業を行う泉大津市農業再生協議会の運営を支援する。

(事業概要等)

泉大津市農業再生協議会の運営及び、同協議会が行う経営所得安定対策等推進事業や地域農業振興事業、担い手育成事業に対して助成を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	575	543	428	620	
うち市負担分(千円)	6	3	6	7	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
交付申請者数	人	10	9	7	10
(指標を設定できない理由)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	システムのクラウド化によって経費削減が図られた。
--------	--------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業の安定対策についてAいすみとの継続協議が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も安定した農業経営対策は必要である。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進
事業名	農業振興対策事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内全域が市街化区域であり、営農世帯や農地等は減少傾向にあるが、農地は地元産野菜の栽培を通じた地産地消の推進以外にも緑地機能や防災機能も有することから、積極的に保全していく必要がある為、都市農業の振興や営農改善のために支援を行う。

(事業概要等)

都市農業の振興や営農改善のために、JAいづみのが主体で行う農作物契約栽培事業及び花と緑の推進事業並びに営農改善対策事業に対して補助金を交付する。

また、平成30年9月の台風第21号による被災農業者の農業経営の維持のために、被災農業者向け経営体支援事業として、農業経営に必要な農業用施設等の再建・修繕等に要する経費を助成する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	832	842	1,366	848	
うち市負担分(千円)	832	842	955	848	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
水稻作付面積	ha	15	13	12	12
農業まつり来場者数	人	4,500	4,000	3,500	3,500
景観形成作物作付面積	ha	1	1	2	2
被災農業者に対する農業用施設の復旧支援件数(単年度)	件	-	-	2	-
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

厳しい農業環境のなか、一定の作付面積の確保を図ることができた。また、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、オープンスペースの景観形成を行い、都市景観の向上につながった。
毎年秋にJAいづみのが主催する農業まつりにおいては、市内で生産された米や野菜の販売の支援を行い、地産地消を推進するとともに都市農業の振興やPRを行った。
被災農業者向け経営体支援事業については、農業用施設の復旧が完了し、経費の90%を助成した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいづみのと継続協議が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も都市農業の振興や営農改善対策は必要である。
改革・改善策等の具体的な内容		